

## ○令和5年度 学校重点目標

4(よくできている)  
~1(できていない)の  
4段階評価の平均値

令和5年度 第2回  
学校評議員会資料 令和6年2月

	令和5年度 重点目標	学校自己評価		令和5年度 振り返り
	本年度の重点取り組み目標	分掌内	分掌外	成果もしくは、改善の方策
総務部	各部署、PTA等との連携を緊密なものとし、100周年行事をはじめ、学校行事が円滑に運営できるようにする。	2.83	2.88	100周年記念行事はPTAとの100周年部を中心にした連携を図ることができた。県尼祭・体育大会・マラソン大会においては、担当各部署、PTAとの連携を図ったが不十分な所があった。
	ホームページなど、情報の発信を強化していく。特に中学生、その保護者に対して、進学高等学校の選択のための情報を強化する。	2.55	2.60	ホームページでの情報発信は、技術的な問題に専門的に取り扱える人がいないため思うように更新できなかった。オープンハイスクール等は、今年度の人数でできるところまではできた。
	校内美化を強化するために用具の充実、清掃方法の改善を図る。	2.20	2.40	用具の充実は、用具に掛ける予算が確保できないため必要数の用具を揃えることができなかった。また、美化に対しても人によって感じ方が違うのでなかなか上手く校内美化を進めることができなかった。
教務部	新学習指導要領に伴う選択科目の設定や評価について、見直しや改良を行い、よりよいものを目指す。	2.50	2.93	教務規定の見直しを行っている。他校の取り組みや、教務部長会での情報交換を生かし、校内研修や周知に努めていきたい。
	校務支援システムでの役割を細分化し、一人に負担がかからないようにする。	1.75	2.71	昨年度に比べて、仕事の一極集中が緩和された。個々の負担も軽減された。
	ICT機器をさらに活用するため、情報教育推進委員会と連携して、教員一人1台iPadを実現する。機器を活用した授業の推進を進める。	1.40	2.31	来年度から全学年の生徒がiPadを持つ。教員が授業で活用できるように、全職員がiPadを持つことが急務である。いち早く推進したい。
進路指導部	生徒の進路選択、進路目標実現のためのサポート体制を充実させる。	2.80	3.00	図書の購入計画をたて、進路指導室の書籍を充実させることができた。3年を中心に進路指導室の利用が増えたが、下級生への利用も促したい。また、令和6年度『進路の手引』の編集を行い発行する。
	スタディーサポートや学びの基礎診断を生徒の進路選択のために有効に活用する。	2.33	2.64	スタディーサポートや学びの基礎診断の位置づけを整理して、明確にする必要がある。
	進路指導の年間計画の検討・改善を行う。	2.00	2.50	進路指導の年間計画の検討と整理を行う。

	令和5年度 重点目標	学校自己評価		令和5年度 振り返り
	本年度の重点取り組み目標	分掌内	分掌外	成果もしくは、改善の方策
生徒指導部	時間やルールの厳守、挨拶、言葉遣いなど人として必要な基本的な生活習慣の確立を図る。	2.67	3.22	授業のみならず部活動時や学校行事時、放課後のちょっとした空き時間等を利用し、全職員が生徒とのコミュニケーションを図ることに努めた。結果、生徒の生活態度、基本的な生活習慣はおおむね安定していた。
	社会進出に向けて自制心を養う。あらゆる場面において、自分で自分をコントロールし、社会性の確立を図る。	2.67	3.00	「自制心を養う」「社会性の確立」に関しては課題が多い。「自制心」「社会性」の欠如から生じる生徒同士の人間関係のトラブルは年々件数が増加している。通学時の交通マナーの悪さも「自制心」「社会性」と無関係ではない。より粘り強い指導が必要と思われる。
	学校行事、生徒会活動や部活動を通して、生徒自らが主体的に行動し、課題解決ができる場面を提供する。	2.98	3.00	文化祭、体育大会等の学校行事では、職員と生徒、保護者やPTA、その他多くの関係者が協力し実施することができた。部活動も各顧問の献身的な指導により、生徒の主体的な活動の場となっていた。ただ、途中退部する生徒も一定数存在する。さらに主体性のある活動を目指し、生徒が充実感、達成感を得られる場となるよう留意したい。
人権教育推進委員会	人権教育推進委員会を定期的に開催する。(毎学期開催を原則とする。)	2.79	3.00	1学期に人権教育の学年ごとの指針を定め、年間の実施計画を立てた。2学期は学校行事としての人権教育講演会とそれに付随した職員研修会についての調整を行った。3学期には今年度の総括を行った。
	学年ごとの教育目標を設定し、生徒の学習進度に応じた内容を系統的に整備する。 今年度については、 ・1学年:個性の尊重と共生 ・2学年:ネット・いじめ問題 ・3学年:職業・結婚差別 とする。	2.83	3.33	1学年;ジョハリの窓等の教材を活用し、自己理解への取り組みを行い、人権意識の高揚に向かう第一歩とした。 2学年;インターネット上の人権問題を取り上げ、人権に配慮したコミュニケーションのあり方について考える。 3学年;就職差別を主題に、履歴書や社用紙の実物を使って面接試験時に起きる人権問題について学習した。
	学校行事として人権講演会を企画し、年間行事計画に組み入れ、今後継続的に実施する。	3.21	3.67	命と人権を大切にすることを育むため、3学年合同の人権講演会を計画した。性的少数者である講師の実体験を聞く中で、当時の学校や社会が性的少数者にとって、生きづらい場であったことを実感した。また、その歌声の美しさに深く感銘を受け、多様性を認めることの大切さを学んだ。
保健部	新型コロナウイルス感染症のみに関わらず、あらゆる感染症の予防対策に取組む。(学校三師等と連携をして取組む。)	2.00	3.33	今年度から始まった長寿命化工事により、教室の照度の低下が気になったため、学校薬剤師と連携をとり、助言をいただいた。来年度も、このように臨時の対応を、連携して行っていきたい。
	教職員の救急体制の理解・意識向上に努める。	2.00	3.33	口頭で伝えるだけでなく、ガルーンにて動画をシェアしたり、分かりやすい周知を心掛けた。
	生徒保健委員会の活動を、有意義なものにする。	3.00	3.28	クリーン班、救急処置講習班、物品整理班の3班に分かれて活動をおこなった。また、コンタクトケースの回収活動においては、昨年度よりも回収数が多く、この活動が根付いてきたと実感している。
	各部、各学年と連携をとり、生徒の対応をチームで行っていく。	3.00	3.44	保健室で知っていた生徒の個人的な情報は、すみやかに学年や他部署と情報を共有した。

	令和5年度 重点目標	学校自己評価		令和5年度 振り返り
	本年度の重点取り組み目標	分掌内	分掌外	成果もしくは、改善の方策
第3学年	基本的な生活習慣の確立により社会適応力を高める。	3.14	2.84	全体としては3年間で年齢相応のしっかりした生活習慣を確立できたが、様々な理由で1割ほどの生徒に欠席・遅刻が多くあった。改善させるために色々試みたが、「出席することが大切である」という意識を十分に高めるには至らなかった。
	進路目標達成に向けて必要な指導・支援を行う。	3.20	3.22	学年全体で学習の大切さを訴え続けてきたことと、担任からの早めの進路指導により、生徒は自分が納得できる進路を選んでいる。
	行事やクラス活動を通してさらなる友情を育み、同窓意識を高める。	3.00	3.06	普段の授業よりも行事の出席率が高いという学年であり、積極的に行事に参加できていた。結果として同窓意識を高めることにおいては十分な成果を収めることができた。
第2学年	基本的な生活習慣を確立させ、社会適応力を育成する。	3.00	3.26	ほとんどの生徒は基本的な生活習慣を身につけて安定した学校生活を送っているが、一部、遅刻や欠席が目立つ生徒が見られる。社会に出てからのことも考え、心身ともに健康でいられるような意識づけを行いたい。
	進路目標を意識させ、その達成に向けて学力を強化する指導を行う。	2.33	3.17	進路行事、総合的な探究の時間やLHRを利用した活動等とおして、多くの生徒が進路目標を定めつつある。ただ、その達成に向けての学力はまだ十分についているとはいえない。2学期には放課後に補習も行ったが、引き続き積極的な取組を促したい。
	さまざまな活動を通して対人能力を向上させ、より良い人間関係を構築させる。	3.00	3.12	行事だけでなく普段の学校生活においても周囲を気遣う言動が見られるようになり、成長を感じることができた。一方で、部活動やクラスで人間関係のトラブルもいくつかあったが、担任や学年だけでなく、部顧問や生徒指導部とも連携を取りながら対応した。
第1学年	基本的な生活習慣を確立させ、時間の厳守など社会性を身に付け、相手を思いやる心を育む。	3.00	3.10	大半の生徒たちは挨拶ができる、時間が守れる等、落ち着いた学校生活を送ることができているが、入学時よりもルーズになってきて基本的な生活習慣が崩れてきている生徒も一定数存在する。次年度も指導を継続し、徹底していきたい。
	学習の習慣を確立させ、基礎学力を高めて定着させる。	2.71	3.09	週末課題や授業での小テストの実施等、各教科で継続的に取り組んできたが、意欲的に学習し、着実に力をつけている生徒と、学力の定着が不十分な生徒との差が開きつつある。今後、不十分な生徒の基礎学力の定着と中上位層を伸ばすことを意識して指導していきたい。
	学校行事、クラス活動、部活動等を通して、県尼高の文化に親しむ。	3.00	3.24	文化祭や体育大会をはじめとする各行事に対しては、各クラスともしっかり取り組んでいた。また、学年行事として生徒たちが「学年レク」を企画・実施し、自主性・協調性を培った。